

学生企画のボランティア活動は、住友商事・東日本再成ユース
チャレンジプログラムから助成を受けています。

ボラスステ新聞

2016年度
第 5 号

二〇一七年
一月五日
発行

春祭り

お祭り特集！

S in 愛島仮設住宅

五月二十五日、愛島東部仮設住宅にて自治会春祭りがあり、今年も参加させていただきました。

私たちはお菓子のつかみ取り、ストラックアウト、水鉄砲での射的を出店し、他にも自治会の方のお店や運営などのお手伝いを行いました。

私は、主にどんどん焼きのお店のお手伝いをしていました。以前もお手伝いしたことがあり、より深い交流ができたと思えます。そして、天候にも恵まれ、注文されたどんどん焼きを全て焼き終える頃には、私の顔も赤く焼きあがってヒリヒリしていました。水鉄砲の射的も子どもだけでなく、大人の方たちからも好評を得てとても盛り上がりがありました。



一方、今回の春祭りの一ヶ月前に熊本大地震がありました。その熊本へ向けて、応援メッセージや現在の自分達の様子を伝えようとしている、普段とは少し違った住人さん達の姿がとても印象に残っています。そのため、自分は何が出来るだろうと考えさせられた春祭りになりました。(人間心理学科三年 菅井俊彦)

氷

夏祭り



八月十五日、愛島東部仮設住宅にて夏祭りが行われました。

今回の夏祭りは参加人数が多くなかったため、ローテーションを組んで様々な人と交流することは難しかったように思えます。しかし、一日中同じブースで活動したことによって、より深い交流ができたのではないのでしょうか。

そのなかでも、私はストラックアウトを担当しました。そこには、子どもたちがたくさん来てくれたので、常に目が離せないような状況でした。今まで他のお祭りにも参加してきましたが、今回のように子どもたちに付きっきりという状態は初めての経験で、とても新鮮でした。また、住民さんだけでなく子どもたちとの仲も深めることができたように感じます。別れ際には「次のお祭りも待ってるから来てね!」と言ってもらえたことがとても嬉しかったです。



そして、今までと比べ、少ない人数での活動ではありましたが、朝早くから皆さんお疲れ様でした。気温が高く、具合が悪くなってしまう人もいたので、自己管理をしっかりとし、次の活動も元気に頑張っていきたいと思います!人手不足はまた別の問題かもしれませんが、改善策を考えていきたいと思えます。

(人間心理学科二年 櫻井琴野)



編集 後記

今回は、名取市の愛島仮設住宅で毎年行われている春祭り、夏祭りのお祭り特集です! どちらのお祭りも天候に恵まれ、たくさん笑ってたくさん踊ってとても盛り上がりがありました。しかし、現在はこのようなお祭りを開催することが難しくなっています。仮設住宅から復興公営住宅に移られる方が増えることで、仮設住宅にいる方が減っているからです。これからも TASKI として、日々少しずつ変わっていく住民さん達の環境に寄り添った活動を続けていきたいと思えます。(人間心理学科2年 田中遥)